

平成20年度現職教育全体計画について

今年度のテーマ

生きて働く国語力の育成

～目的に応じて読み、考えを表現する子どもをめざして



1. めざす日和田小の子ども像（※印は、今年度の重点）

※①目的に合わせて文章を読むことができる子ども

- 言葉に着目して文章を読みとることができる子ども
- 文章の読み方（スキル）が分かる子ども
- 自分の考えを持ち、それを音声言語や文で表現できる子ども

②話をよく聞き合い、自分の考えを深めることができる子ども



- ◎ 国語の楽しさを知り、学びを次の学習や生活に生かしていくことができる子ども



2. めざす姿に到達させるための＜研究の視点＞

研究の視点（案）

<国語科の授業の中で重視すること>

- ◎—1 「自力で読む」方法を身につける学習活動の工夫
- ◎—2 進んで「対話」する双方向交流の場の設定

<国語科の学習+教育活動全般で重視すること>

- ☆—3 学びの基礎を養う場、生活に生かし楽しさを得る場の設定

3. 今年度の「具体的な手だて」について

<国語科の授業の中で重視すること>

◎—1 「自力で読む」方法を身につける学習活動の工夫（今年度の重点）

- 到達目標<目的>の明確化～課題との出会わせ方の工夫
 - ・「何のために読むのか」
 - ・「どんな力をつけるために読むのか」
- 目標達成のために取り入れる言語技術の明確化
- 適切な方法の選択と身につけるための練習場面の設定
- 自力読みの時間や場の確保
（「書くこと」による考えの明確化）

◎—2 進んで「対話」する双方向交流の場の設定 （前年度までの研究を生かして）

- 読みを深める発問の工夫
- 「対話」のルール確立と継続指導
（全校共通のルールと指導＋学年に応じたルールと指導）
- ペアや小グループ→全体で関わり合う場の効果的な設定

<各学年＋各部会のアイディアを生かして推進する内容>

☆—3 学びの基礎を養う場、生活に生かし楽しさを得る場の設定

- ①「読書の楽しさを味わう」活動の推進
 - ・必読書の選定と読書の奨励
 - ・読み聞かせの実践
 - ・図書館教育との連携
- ②基礎的な力を高める日常の指導
 - ・「ひなたタイム」の時間を使った（読書・音読・言葉の学習）の場の確保
- ③諸活動における自分の思いを表現する場の充実
 - ・学校行事・委員会活動等での表現活動の充実
- ④日和田の特色を生かした俳句作り～言葉を大切にする指導
 - ・俳句作りの楽しさを実感できる支援の工夫
 - ・各種俳句コンクールへの参加（三汀賞等～）

4. 今年度の研究内容

- ①基本計画、めざす子ども像の立案
- ②視点研究による授業研究と考察、改善
- ③意識調査の実施と学力テストの考察
- ④文章を読むためのスキルの洗い出しと学年の系統表作成
- ⑤自作練習問題の作成
- ⑥言語の基礎力・応用力をつける日常指導の蓄積